



音楽の贈り物

2011. 11. 5 17:15～ 仙台中央音楽センター地下Aスタジオ

～プログラムノート～

♪ モーツァルト:

アダージョ KV261

vl木村恭子 pf進藤泉

この愛らしく美しい曲は、バイオリン協奏曲第5番 イ長調の第2楽章の差し替え用として書かれたと考えられています。

協奏曲では木管楽器がオーボエの担当でしたが、このアダージョではフルートが指定されています。これは、当時の音楽家はフルートとオーボエを一人で持ち替えることが少なくなかったためです。

ソナタ形式で、落ち着いて香ばしい2つの主題を持ち、短い展開部の暗い影が素敵な味わいを添えています。

♪ モーツァルト:

ピアノとバイオリンのためのソナタ ホ短調 KV304

第1楽章 アレグロ

第2楽章 テンポ ディ メヌエット

ピアノとバイオリンのためのソナタの中で唯一の短調の作品。

このソナタに漂う暗く悲しげな表情は、愛する母が亡くなったことと深くかかわりがあるとされています。

初期の作品に多い2楽章の形式。第1楽章は第1主題が提示されるといくつもの嵐のような動機が展開します。モーツァルトの天才的な対位法です。第2楽章はホ長調のトリオの部分がとても印象的です。この曲は間違いなくモーツァルトの傑作のひとつです。

♪ ブラームス :

ハンガリー舞曲集より

pf小林真理子 石戸谷香子

3大Bとして、バッハ、ベートーヴェンと並び称される、ドイツ・ロマン派最大の作曲家の一人、ヨハネス・ブラームス(1833～97)が発表したこのハンガリー舞曲集は、その当時の人々に爆発的な連弾ブームを巻き起こしました。極めてジプシー的で速度や表情が激しく即興的な作風はジプシーの気まぐれな性格、その哀愁と情熱が見事に表現されており、多くの人の心を魅了してやみません。

◇第6番 明るく闊達。軽快でスピーディーな作品。第5番とともに有名。

◇第4番 ロマンチックで哀愁に満ちた旋律、興奮をおおるトレモロと高まるテンポなど情熱的な要素にあふれた作品。

◇第5番 雄大なメロディーが力強く繰り返される最も有名な作品

♪ モーツァルト:

ピアノ トリオKV498 「ケーゲルシュタット トリオ」

vl.吉井雅子 vla.志賀恵子 pf住田怜美

第1楽章 アンダンテ

第2楽章 メヌエット

第3楽章 ロンドーアレグレット

モーツァルトは1786年、30歳の時にこのクラリネット、ヴァイオラ、ピアノのためのトリオを作曲したそうです。

「ケーゲルシュタット」というのは、当時流行したボーリングに似たゲームのことで、モーツァルトがこのケーゲルシュタットをして遊んでいるうちに楽想が浮かんできたのでこの名前になったと伝えられています。

もっとも、このエピソードの真偽のほどは良くわかっていないようですが…

いずれにしろ、この作品はそういったエピソードが生まれでもおかしくないと思えるような明るく親しみやすい作品となっていて、当時はヴァイオラも得意としたモーツァルトがヴァイオラを、クラリネットは名手シュタットラー、ピアノはモーツァルトの生徒のジャカン家の娘が受け持って家庭的な雰囲気を楽しんでいたそうです。

今日はクラリネットをバイオリンに持ちかえて演奏しますが、当時の様にお茶の間の様な雰囲気を感じて頂けたら嬉しいです。

桐朋学園大学音楽学部附属
子供のための音楽教室仙台教室